

第七号様式の二（第十八条の二）

認 定 申 請 書

年 月 日

千葉県知事 様

申請者 主たる事務所の所在地
 名 称
 代表者の氏名
 電 話 番 号

㊞

下記のとおり、鳥獣捕獲等事業が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第18条の5第1項に規定する基準に適合していることについて認定を受けたいので、同法第18条の3第1項の規定により申請します。

記

鳥獣捕獲等事業により捕獲等をする鳥獣の種類及びその方法	装薬銃を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	1. ニホンジカ 2. イノシシ 3. ヒグマ 4. ツキノワグマ 5. ニホンザル 6. その他（ ）
	空気銃を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
	わなを使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
	網を使用して捕獲等をする鳥獣の種類	
鳥獣捕獲等事業の実施体制	事業管理責任者の役職・氏名	
	捕獲従事者	【別紙】捕獲従事者名簿のとおり
	安全管理体制	
	夜間銃猟の実施	1. 有 2. 無
鳥獣捕獲等事業に従事する者の技能及び知識		
鳥獣捕獲等事業に従事する者に対する研修の実施		

【別紙】捕獲従事者名簿

氏名	生年月日	狩猟免許の種類	銃器を使用する場合		救急救命講習の受講の有無
			銃砲の種類	夜間銃猟をする者	

注

- 1 数字を付した欄は、該当する数字を○で囲むこと。
- 2 鳥獣捕獲等事業により捕獲等をする鳥獣の種類及びその方法欄には、装薬銃・空気銃・わな・網ごとに対象とする全ての鳥獣を記載すること。
- 3 捕獲従事者名簿の記載に当たっては、次の事項に留意すること。
 - (1) 全ての捕獲従事者は、安全管理講習及び技能知識講習を修了していること。
 - (2) 狩猟免許の種類欄には、捕獲従事者が現に受けている全ての狩猟免許の種類（第一種銃猟免許、第二種銃猟免許、わな猟免許又は網猟免許）を記載すること。
 - (3) 銃器を使用する場合は、銃砲の種類欄に、当該捕獲従事者が鳥獣捕獲等事業で使用する全ての銃砲の種類（散弾銃、ライフル銃、空気銃等）を記載すること。
 - (4) 夜間銃猟を実施する場合は、捕獲従事者のうち実際に夜間銃猟をする者について、夜間銃猟をする者欄に○を記載すること。なお、全ての夜間銃猟をする者は、夜間銃猟安全管理講習を修了しているとともに、夜間銃猟の技能要件を満たすこと。
 - (5) 救急救命講習の受講の有無欄については、当該捕獲従事者が受講した場合は○を記載すること。なお、捕獲従事者の半数以上が受講していること。
- 4 鳥獣捕獲等事業の実施体制欄のうち、安全管理体制欄の添付書類は安全管理規程及び安全管理講習に関する書類とし、夜間銃猟の実施欄の添付書類は夜間銃猟安全管理規程及び夜間銃猟安全管理講習に関する書類とする。
- 5 鳥獣捕獲等事業に従事する者の技能及び知識欄の添付書類は、技能知識講習に関する書類とする。
- 6 鳥獣捕獲等事業に従事する者に対する研修の実施欄の添付書類は、研修に関する書類とする。
- 7 所定の欄に記載できないときは、別紙に記載の上、添付すること。